

一般社団法人日本有機資源協会 2024年度事業報告書

2024年度は、業務量の増加に伴う体制強化を図った上で、本協会の事務所移転によって生み出された会議室や打合せスペースを有効活用し、日々効率的な業務運営に努めました。

7府省が推進する「バイオマス産業都市」の選定数は、2025年3月末日時点で104市町村にまで増加し、バイオマス活用の事業化に向けた動きが進みました。また、脱炭素先行地域(2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域)も、2025年3月末日時点で全国38道府県107市町村の81提案が選定されています。

本協会が運営・認定を行っているバイオマスを原料とした製品に付与する「バイオマスマーク」に関しては、引き続き認定商品数が増加し、容器包装、インキ、事務用品など幅広い分野でバイオマス製品が流通するようになりました。バイオマスマーク認定商品数は2025年3月末日時点で2,070点となっています。

このような情勢の下、2024年度の重点事業として、①バイオマス活用推進事業においては、バイオマス関連調査等、②バイオマスマーク事業においては、バイオマスマーク認定商品の普及拡大に向けた取組、③人材育成事業においては、バイオマス活用の事業化を成功させるための各種研修、④普及啓発事業においては、ホームページの充実、バイオマス活用に関する効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うバイオマスサロンの開催、国際バイオマス展等の展示会へ出展、⑤補助事業・受託事業においては、バイオマス関連の幅広い分野の事業の受注活動を展開した結果、国の補助事業として、脱炭素型循環経済システム構築促進事業(プラスチック等資源循環システム構築実証事業)、地域資源活用展開支援事業(バイオマス活用展開調査型)、地域資源活用展開支援事業(先進事例の情報普及型)、国内肥料資源活用総合支援事業(国内肥料資源流通促進支援)を実施しました。

以上の事業を実施するにあたっては、当協会会員はもとより、国関係機関、地方公共団体、学識経験者、バイオマス活用アドバイザー、食品・流通・廃棄物・林業等の幅広い分野の関係者等と連携を図りました。

1. 会員の状況

2024年度における期首及び期末の会員数は、次のとおりです。

会 員 区 分	2024年4月1日現在	2025年3月31日現在	増減
名 誉 会 員	4	6	2
正 会 員	125	120	▲5
個人	22	20	▲2
法人	81	80	▲1
団体	22	20	▲2
賛 助 会 員	119	114	▲5
個人	103	97	▲6
法人	3	4	1
団体	13	13	0
合 計	248	240	▲8

2. 会務の運営

総会及び理事会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 総会 1回開催

2024年

6月28日(金) 第13回定時総会

[総会出席者]

正会員数126会員のうち119会員

[議案]

第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 名誉会員について

第4号議案 入退会及び会員に関する規程(改正案)について

[報告事項]

1 2024年度事業計画及び収支予算について

(2) 理事会 3回開催

2024年

6月 3日(月) 第37回理事会

[議事]

(1) 専務理事の職務執行状況について

(2) 2023年度事業報告及び収支決算について

(3) 役員の選任について

(4) 名誉会員について

(5) 入退会及び会員に関する規程(改正案)について

(6) 常勤役員(専務理事)の2024年度俸給年額について

(7) 一般社団法人日本有機資源協会 事務処理規則(改正案)について

(8) 一般社団法人日本有機資源協会 職員給与等規程(改正案)について

(9) 今後のスケジュールについて

(10) 2024年度事業計画及び収支予算について(参考説明)

(11) その他

6月28日(金) 第38回理事会

[議事]

(1) 会長、副会長及び専務理事の選任について

(2) 入会審査担当理事について

(3) その他

2025年

3月 4日(火) 第39回理事会

[議事]

(1) 専務理事の職務執行状況について

(2) 2024年度事業執行状況について

(3) 2025年度事業計画及び収支予算について

(4) 一般社団法人日本有機資源協会 当期利益の処分について

(5) シャチハタクラウドについて

(6) 事務処理規則の改正について

(7) 今後のスケジュール等について

(8) その他

(3) 監事会（2023年度事業監査） 1回開催

2024年

5月22日（水） 第13回監事会

[議事]

1 2023年度事業報告及び収支決算について

(4) 運営戦略委員会 3回開催

2024年

5月24日（金） 2024年度第1回運営戦略委員会

10月28日（月） 2024年度第2回運営戦略委員会

2025年

2月14日（金） 2024年度第3回運営戦略委員会

(5) 評価委員会 1回開催

2024年

5月17日（金） 第4回評価委員会

(6) エコアクション21

2024年

5月31日（金） 2023年度環境経営レポート 公表

10月 4日（金） 更新審査

3. 事業活動

(1) バイオマス活用推進事業

地方公共団体及びバイオマス活用に関する事業や研究等に関連する個人、企業、団体等からの要請、要望、相談等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行いました。

また、経済産業省資源エネルギー庁開催の「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会」等にバイオマスの代表団体としてオブザーバー出席し、バイオマス関係企業、団体等の意見・要望を伝えるとともに最新の情報収集等に努めました。

1) バイオマス活用推進活動の促進

当協会会員やバイオマス活用アドバイザー等との連携により、バイオマスプラスチックに関する調査、バイオマス関連調査等を実施しました。

[契約業務]

①民間企業 バイオマスプラスチックの国内普及状況調査業務

②長野県飯山市 アドバイザリー業務

③岩手県紫波町 再生可能エネルギー設備（メタン発酵・木質バイオマス）アドバイザリー業務

2) バイオマス活用相談室の運営

バイオマス活用相談室を設置・運営し、資料提供、面談指導、実地指導、講演、委員の派遣等を実施しました。

①講演した実績、公表された報文等

2024年

- 7月 2日 (火) バイオマス発電による脱炭素化、Dual No.1、bright future 執筆
- 7月17日 (水) バイオマスの発生と生産、(一社)日本エネルギー学会編「バイオマスの科学と技術」、コロナ社 執筆
- 9月 1日 (日) バイオマス産業都市におけるバイオマス事業の取組と脱炭素化の取組について、都市清掃 Vol. 77、No. 381、499-506.
- 9月 1日 (日) 有機性廃棄物を原料とするバイオガス発電、電設技術 執筆
- 10月 1日 (火) 九州バイオマスシンポジウム・視察研修ツアー ミニ講演会 講演
- 10月 1日 (火) バイオ液肥利用の拡大方策、農業および園芸、養賢堂 執筆
- 10月10日 (木) 国内有機資源 (バイオマス) の活用、日本農業新聞社「みどり GX ラボ」セミナー基調講演
- 11月15日 (金) バイオマス産業都市構想の策定手順や策定におけるポイント、静岡県バイオマス市町担当者向け研修会 講演
- 11月19日 (火) 長野市きのこと廃培地等活用調査の報告、長野市きのこと廃培地等活用調査報告会 講演
- 12月19日 (木) バイオマス産業都市におけるバイオマス事例紹介と脱炭素化の取組について、バイオマス科学会議 講演
- 12月19日 (木) バイオ液肥の利用拡大方策、土づくり推進フォーラムシンポジウム 講演
- 12月23日 (月) バイオマス資源の活用による脱炭素化と地域経済活性化、3R・循環経済先進事例研究発表会 発表

2025年

- 1月 8日 (水) 国内肥料資源利用拡大アワードについて、下水道協会誌 (公社)日本下水道協会 執筆
- 1月25日 (土) 日本有機資源協会の活動紹介、未来農林事業開発研究会2025年度年次大会 講演
- 2月 1日 (土) メタン発酵バイオガス発電の現状と展望、農村と都市をむすぶ 執筆
- 2月27日 (木) バイオマスを巡る情勢、サステナブル・ジャパンコンソーシアム キックオフミーティング 講演
- 3月31日 (月) 第1回「令和6年度 国内肥料資源利用拡大アワード」について、日本水道新聞社 水団連 執筆

②各種委員会対応

i) 経済産業省関連

2024年

- 5月24日 (金) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 系統ワーキンググループ (第51回)」オブザーバー
- 5月29日 (水) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 (第62回)」オブザーバー
- 6月13日 (木) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 (第63回)」オブザーバー
- 7月17日 (水) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 (第64回)」オブザーバー

- 7月25日(木) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第65回)」オブザーバー
- 8月 7日(水) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第66回)」オブザーバー
- 8月19日(月) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第67回)」オブザーバー
- 9月11日(水) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第68回)」オブザーバー
- 9月18日(水) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 系統ワーキンググループ(第52回)」オブザーバー
- 9月30日(月) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第69回)」オブザーバー
- 10月22日(火) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第70回)」オブザーバー
- 10月30日(水) 「第97回調達価格等算定委員会」 ヒアリング対応
- 11月28日(木) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第71回)」オブザーバー
- 12月 2日(月) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 系統ワーキンググループ(第53回)」オブザーバー

2025年

- 1月23日(木) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会／電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会 次世代電力系統ワーキンググループ(第1回)」オブザーバー
- 2月 3日(月) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(第72回)」オブザーバー
- 3月17日(月) 「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会／電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会 次世代電力系統ワーキンググループ(第2回)」オブザーバー

ii) 農林水産省関連

2024年

- 8月29日(木) 次世代バイオマスアップサイクル技術の世界展開に向けた調査研究 第1回運営委員会委員

12月 9日 (月)	次世代バイオマスアップサイクル技術の世界展開に向けた調査研究 第2回 運営委員会委員
2025年	
2月12日 (水)	酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発 評価委員会 委員
3月28日 (金)	次世代バイオマスアップサイクル技術の世界展開に向けた調査研究 第3回 運営委員会委員
iii) その他	
2024年	
5月21日 (火)	2024年度第1回資源リバランス事業化研究会 オブザーバー
6月 4日 (火)	宮城県大崎市 令和6年度第1回大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会 副委員長
6月 6日 (木)	民間団体 第60回J-クレジット制度認証委員会 委員
7月26日 (金)	宮城県大崎市 令和6年度第2回大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会 副委員長
7月31日 (水)	3R・資源循環推進フォーラム企画・運営委員会 委員
7月31日 (水)	国立研究開発法人 令和6年度農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究 「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト」第1回推進会議 委員
8月20日 (火)	2024年度第2回資源リバランス事業化研究会 オブザーバー
8月22日 (木)	民間団体 第61回J-クレジット制度認証委員会 委員
9月 2日 (月)	民間団体 「令和6年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2 対策普 及促進方策検討委託業務」第1回検討会 委員
9月 9日 (月)	民間団体 「農林水産省 中小企業イノベーション創出推進事業（フェーズ ～27日 (金) 3基金事業)」 プロジェクト採択・評価委員会（持続的開発部会） 部会長
9月 9日 (月)	民間団体 ムーンショット型農林水産研究開発事業 評議委員会 委員
～10月17日 (木)	
9月13日 (金)	国立研究開発法人 令和6年度農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究 「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト」第1回現地実演 会 委員
9月13日 (金)	民間団体 令和6年度第1回エコフィート認証運営委員会 委員
9月26日 (木)	民間企業 令和6年度第1回バイオ肥料等有効利用協議会 構成員
10月 9日 (水)	民間団体 第6回下水道GX促進調査専門委員会 委員
10月16日 (水)	民間団体 令和6年度第2回エコフィート認証運営委員会 委員
10月29日 (火)	民間団体 第62回J-クレジット制度認証委員会 委員
11月 1日 (金)	九州地域バイオマス関係機関連絡会議 オブザーバー
11月 5日 (火)	民間団体 令和6年度第3回エコフィート認証運営委員会 委員
11月18日 (月)	民間団体 令和6年度第4回エコフィート認証運営委員会 委員
11月28日 (木)	民間団体 第3回下水道GX促進調査専門委員会 情報・標準化WG 委員
11月28日 (木)	2024年度第3回資源リバランス事業化研究会 オブザーバー
12月10日 (火)	宮城県大崎市 令和6年度第3回大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会 副委員長
12月11日 (水)	資源リバランス事業化研究会 2024年第1回リン（カリ）循環分科会 オブザーバー
12月12日 (木)	民間団体 令和6年度第5回エコフィート認証運営委員会 委員

- 12月24日(火) 民間企業 平成6年度木質バイオマス燃焼灰の肥料利用に関する調査委託事業に係る検討会 委員
- 12月24日(火) 民間団体 第4回下水道GX促進調査専門委員会 情報・標準化WG 委員
- 12月27日(金) 民間団体 オープンバイオガス構想のヒアリング、環境省「令和6年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業」 委員

2025年

- 1月7日(火) 民間団体 第63回J-クレジット制度認証委員会 委員
- 1月9日(木) 民間団体 「令和6年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進方策検討委託業務」第2回検討会 委員
- 1月14日(火) 民間団体 コンポスト品質確認制度 運営・審査委員会 委員
- 1月17日(金) 国立研究開発法人 令和6年度農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト」第1回運営委員会 委員
- 1月30日(木) 民間団体 第1回 令和6年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業(液肥散布および小型バイオガスプラントの低コスト化、オープンソース化、地域モデル実証)検討会委員
- 2月3日(月) 民間団体 令和6年度第6回エコフィート認証運営委員会 委員
- 2月6日(木) 民間企業 NEDO事業「未利用資源のアベイラビリティ調査(バイオものづくり革命推進事業 俯瞰調査)」に関する第1回検討委員会 委員
- 2月7日(金) 宮城県大崎市 令和6年度第4回大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会副委員長
- 2月13日(木) 民間団体 第5回下水道GX促進調査専門委員会 情報・標準化WG 委員
- 2月21日(金) 民間団体 令和6年度官民連携新技術研究開発事業 農業集落排水施設エネルギー最適利用システム検討委員会(第2回) 共同事務局
- 3月6日(木) 民間企業 NEDO事業「未利用資源のアベイラビリティ調査(バイオものづくり革命推進事業 俯瞰調査)」に関する第2回検討委員会 委員
- 3月11日(火) 民間団体 第64回J-クレジット制度認証委員会 委員
- 3月11日(火) 「令和6年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進方策検討委託業務」第3回検討会 委員
- 3月12日(水) 民間団体 バイオものづくり キックオフミーティング
- 3月26日(水) 3R・資源循環推進フォーラム企画・運営委員会 委員
- 3月26日(水) 民間団体 第7回下水道GX促進調査専門委員会 委員
- 3月26日(水) 民間団体 「農林水産省 中小企業イノベーション創出推進事業(フェーズ～27日(木) 3基金事業)」 令和6年度の年度評価およびステージゲート審査 部会長

(2) バイオマスマーク事業

バイオマス由来の商品にバイオマスマークを付すことにより、当該商品へのバイオマスの利用を消費者に情報提供し、これらの商品を普及させることによりバイオマスの利用を促進して、自然の恵みで持続的に発展可能な社会構築に貢献することを目的としています。

バイオマスマーク認定商品の良さを積極的にPRした結果、2025年3月末日時点のバイオマスマーク認定商品数は2,070点になりました。

1) バイオマスマークの運営・審査

1か月に1回、バイオマスマーク認定審査を実施するとともに、運営委員会及び審査委員会をオンライン併用にて開催しました。

2024年

4月	2023年度 3月〆切分審査
5月	2024年度 4月〆切分審査
5月30日(木)	第1回バイオマスマーク運営・審査合同委員会
6月	2024年度 5月〆切分審査
6月24日(月)	第2回バイオマスマーク運営・審査合同委員会
7月	2024年度 6月〆切分審査
8月	2024年度 7月〆切分審査
9月	2024年度 8月〆切分審査
10月	2024年度 9月〆切分審査
10月16日(水)	第1回バイオマスマーク審査委員会
10月16日(水)	第3回バイオマスマーク運営・審査合同委員会
11月 7日(木)	第4回バイオマスマーク運営・審査合同委員会
11月	2024年度10月〆切分審査
12月	2024年度11月〆切分審査

2025年

1月	2024年度12月〆切分審査
2月	2024年度 1月〆切分審査
3月	2024年度 2月〆切分審査
3月14日(金)	第5回バイオマスマーク運営・審査合同委員会

2) バイオマス関連展示会等への出展

バイオマスマーク認定商品の良さをPRするため、以下の展示会等に出展するとともに、バイオマスマークに関する発表を実施しました。

2024年

4月～3月	おおさかATC グリーンエコプラザ 常設展示
7月25日(木)	一般社団法人茨城県環境管理協会 2024年度エコ・カレッジ(職域コース) 講演
10月29日(火) ～31日(木)	サステナブルマテリアル展
12月 4日(水) ～6日(金)	エコプロ2024

2025年

1月10日(金) ～2月 9日(日)	令和6年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン 協賛
2月 5日(水)	eco ワーク発表会

3) バイオマスマークの広報活動

バイオマスマーク認定商品を推進するため、メールニュースを10回配信しました。

4) バイオマスマーク認定商品ホームページの運営

当協会ホームページ内のバイオマスマーク認定商品検索ページを更新し、バイオマスマーク事業のホームページの充実を図りました。

2024年

12月23日(月)	こども向けページ 開設
-----------	-------------

2025年

3月18日（火） バイオマスマーク認定商品検索ページ更新版 公開

5) その他

①契約更新時の請求にバイオマスマーク活動報告を添付

②COCN（産業競争力懇談会）推進テーマプロジェクトに参加しました。

2024年

7月10日（水） 第2回WG1 会合

7月30日（火） 第2回全体会合

8月21日（水） 第3回WG1 会合

9月 3日（火） 第3回全体会合

11月 1日（金） 第4回全体会合

11月 5日（火） 第4回WG1 会合

12月26日（木） 第5回WG1 会合

2025年

2月19日（水） 第5回全体会合

③日本プラスチック工業連盟

2024年

7月23日（火） 第14回バイオプラスチック利用推進 WG 全体会議

2025年

2月13日（木） 第16回バイオプラスチック利用推進 WG 全体会議

(3) 人材育成事業

バイオマスの活用を的確かつ効率的に推進するうえで、専門的かつ幅広い知識を有し、地域で活動できる人材の養成が不可欠であることから、バイオマス活用総合講座及びメタン発酵技術アドバイザー養成研修はオンラインにて、メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修はオンラインと現地にて以下のとおり実施しました。

1) バイオマス活用総合講座の実施

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手の養成を目的としてオンラインにて実施しました。本講座の修了者には、バイオマスアドバイザー（初級）として認定し、バイオマス活用アドバイザー養成研修及びコンポスト生産管理者養成研修の受講資格を付与しています。

2024年

7月 9日（火）
～10日（水） 第23回バイオマス活用総合講座（20名）

2) メタン発酵技術アドバイザー養成研修の実施

バイオガス化・液肥製造事業における技術管理またはメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的としてオンラインにて実施しました。

2024年

8月 6日（火）
～ 7日（水） 第14回メタン発酵技術アドバイザー養成研修（19名）

3) メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修の実施

令和3年度新エネルギー等の導入促進のための広報等事業委託費における再エネ導入・運転人材育成支援事業（メタン発酵バイオガス発電における人材育成）により作成したテキストを活用し、バイオガスプラントの運転作業員や運転管理者、プラントメーカーの技術者、事業者、自治体担当者等向けに、バイオガスプラントの実際の運転管理やトラブル対応等に関する研修を実施しました。

2024年

9月 5日（木） 第3回メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修（14名）
～ 6日（金）
12月20日（金） 現地見学会：（5名）

（4）技術調査事業

本協会法人会員等の商業化可能な実用モデルの構築を目的としたテクノフォーラムについては、本年度は開催しませんでした。次年度以降は、必要に応じて開催します。

（5）普及啓発事業

バイオマスの有効利用に係る国及び地方公共団体の施策と連携し、ホームページやメールニュースで情報配信を行うこと等により、国民の各層各界にバイオマス活用推進のための普及啓発活動を行いました。

1) ホームページの運営

本協会活動の広報（協会案内、協会活動、入会案内、行事・イベント、公募情報等）、ホームページからの相談受付、出版物案内、バイオマスマークの紹介、バイオマス関連情報の提供等、効果的なホームページの運営に努めました。

2) 展示会等への参画

国際バイオマス展に出展するとともに、関係する展示会に積極的に協力し、バイオマスの事業化の推進を図りました。

2024年

5月22日（水） 2024NEW環境展 協賛
～24日（金）
7月24日（水） 施設園芸・植物工場展(GPEC) 協賛
～26日（金）
7月30日（火） 高分子学会講演会 協賛
12月18日（水） 第20回バイオマス科学会 協賛
～20日（金）

2025年

1月29日（水） 第19回再生可能エネルギー世界展示会及びフォーラム 協賛
～31日（金）
1月10日（金） 令和6年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン 協賛
～2月 9日（日）
2月19日（水） 国際バイオマス展 春展 出展
～2月21日（金）

3) バイオマスサロンの開催

会員をはじめ関係者が一堂に会して、バイオマス活用に関して効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うことを目的に、本年度は3回開催しました。

2024年

6月28日（金） 第105回バイオマスサロン（オンライン併用、266名）

- ①「食品リサイクル法との関わり」
東京農業大学名誉教授 牛久保 明邦 氏
- ②「バイオマスマーク認証制度の来し方行く末、そして次世代へ繋ぐ」
北海道大学名誉教授 木村 俊範氏
- ③「バイオマス活用の今後の展望について」
農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課
再生可能エネルギー室長 栗田 徹 氏
- ④「再生可能エネルギー政策の動向について」
経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 課長補佐 潮 高史 氏
- ⑤「資源循環政策の最新動向について」
環境省 環境再生・資源循環局 総務課
容器包装・プラスチック資源循環室 室長 井上 雄祐 氏

10月11日（金） 第106回バイオマスサロン（オンライン併用、91名）

- ①「サーキュラーエコノミー実現に向けて」
経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 資源循環経済課
総括補佐 葉山 緑 氏
- ②「地球温暖化対策の最新動向」
環境省 地球環境局 地球温暖化対策課長 吉野 議章 氏
- ③「国内肥料資源の利用拡大に向けて」
農林水産省 農産局 技術普及課長 吉田 剛 氏
- ④「下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた取り組み」
国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道企画課長 岡 良介 氏

2025年

1月24日（金） 第107回バイオマスサロン（オンライン併用、170名）

- ①「バイオマス利用の評価方法に関する最近の話題」
立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 橋本 征二 氏
- ②「バイオエタノールの現状と課題」
東京大学名誉教授 横山 伸也 氏
- ③「地域新電力の現状・課題・可能性」
一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 事務局長 稲垣 憲治 氏
- ④「(株)脱炭素化支援機構の取り組みとバイオマスのビジネスモデル」
株式会社脱炭素化支援機構 代表取締役社長 田吉 禎彦 氏

4) メールニュースの配信

バイオマスに関するイベントや公募情報等を盛り込んだメールニュースを毎週金曜日を基本に49号配信しました。

(6) 国際交流事業

要請に基づき、次のとおり実施しました。

2024年

12月 4日（水） 日本におけるバイオガスシステムの最前線、日独エネルギー講義シリーズ
講演

(7) 出版事業

昨年度から継続して、「メタン発酵システム～基礎から実務まで知り尽くす～」、「バイオマスプラスチック～基礎から最前線まで知りつくす～」、バイオマス活用ハンドブック、技術調査事業における技術委員会の各専門委員会作成の調査報告書・マニュアル等を販売しました。また、地域バイオマス活用計画の策定（執務参考資料 Ver. 0.9）を会員向けに公開しました。

(8) 補助・受託事業

1) 補助事業

①令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素型循環経済システム構築促進事業） （プラスチック等資源循環システム構築実証事業）

（環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室）

（環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）

化石由来プラスチックを代替する省CO₂型バイオプラスチック等（再生可能資源）への転換及び社会実装化又はプラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省CO₂化を行う事業、ならびに、廃棄物等バイオマスを用いた省CO₂型ジェット燃料又はジェット燃料原料製造・社会実装化実証、廃油のリサイクルプロセス構築・省CO₂化実証に要する経費の一部を補助する事業に補助金を交付することにより、プラスチック等の資源循環システムを構築し、エネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制することを目的として、本年度は繰越補助事業者（1者）の事業実施とともに、オンライン併用により間接補助事業者成果報告会を開催しました。

2024年

8月20日（火） 令和5年度事業者成果報告会＜代替素材・リサイクル＞

2025年

1月28日（火） 第5回評価審査委員会＜代替素材＞

3月10日（月） 繰越間接補助事業者（1者）事業完了期限

3月 繰越間接補助事業者（1者）事業検査

3月31日（月） 事業完了

②令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素型循環経済システム構築促進事業） （プラスチック等資源循環システム構築実証事業）

（環境省 環境再生・資源循環局 総務課 容器包装・プラスチック資源循環室）

（環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）

化石由来プラスチックを代替する省CO₂型バイオプラスチック等（再生可能資源）への転換及び社会実装化又はプラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省CO₂化を行う事業、ならびに、廃棄物等バイオマスを用いた省CO₂型ジェット燃料又はジェット燃料原料製造・社会実装化実証、廃油のリサイクルプロセス構築・省CO₂化実証に要する経費の一部を補助する事業に補助金を交付することにより、プラスチック等の資源循環システムを構築し、エネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制することを目的として、本年度は16事業者を採択し、本事業を実施しました。

2024年

4月23日（火） 間接補助事業者 一次公募＜代替素材・代替ジェット燃料・リサイクル・廃油～5月27日（月） リサイクル＞

6月10日（月） 間接補助事業者 二次公募＜代替素材・代替ジェット燃料・リサイクル・廃油～7月10日（水） リサイクル＞

6月11日（火） 第1回評価審査委員会＜リサイクル・廃油＞

7月29日（月） 間接補助事業者 三次公募＜代替素材・代替ジェット燃料・リサイクル・廃油～9月 2日（月） リサイクル＞

- 7月30日（火） 第1回評価審査委員会＜代替素材・SAF＞
- 7月30日（火） 第2回評価審査委員会＜リサイクル＞
- 8月21日（水） ライフサイクル思考に基づく事業の評価と戦略立案のための勉強会
- 9月30日（月） 第2回評価審査委員会＜代替素材＞
- 9月30日（月） 第3回評価審査委員会＜リサイクル＞
- 12月12日（木） 補助事業中間検査
- 2025年
 - 1月28日（火） 年度末評価審査委員会＜代替素材・SAF＞
 - 1月30日（木） 年度末評価審査委員会＜リサイクル・廃油＞
 - 3月10日（月） 間接補助事業完了期限
 - 3月 間接補助事業検査
 - 3月31日（月） 事業終了（年度繰越）

③令和6年度国内肥料資源活用総合支援事業 国内肥料資源流通促進支援 （農林水産省 農産局 技術普及課 及び 農業環境対策課）

国内資源由来肥料の利用拡大に関する取組の一環として、全国14地区の先進的なバイオ液肥利用農家や事業者を対象に現地調査を実施し、「バイオ液肥活用先進事例集 -農家の声-」を作成するとともに、「バイオ液肥活用シンポジウム」を開催しました。また、バイオ液肥に関する相談窓口を開設し、相談対応を実施しました。

本年度は、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料（国内資源肥料）への積極的な転換を図る取組や、地域で効率的に資源循環を推進する取組を通じて、顕著な実績を挙げている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者を広く表彰し、国内資源肥料の全国的な普及及び生産性の向上を推進することを目的として、「令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード」の表彰事業を実施しました。

- 2024年
 - 7月12日（金） 令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード 募集
 - ～8月23日（金）
 - 9月25日（水） 国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 中国四国（広島市） 参加
 - 9月27日（金） 令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード第1回審査委員会
 - 10月22日（火） 令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード第2回審査委員会
 - 11月29日（金） バイオ液肥活用シンポジウム
 - 12月 4日（水） 国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 北海道（札幌市） 参加
- 2025年
 - 1月31日（金） 令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード 表彰式
国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 東京（大田区産業プラザPiO） 参加
 - 2月18日（火） 令和6年度（第1回）国内肥料資源利用拡大アワード第3回審査委員会
 - 3月31日（月） 事業完了

④令和6年度みどりの食料システム戦略推進総合対策事業 地域資源活用展開支援事業 （2）バイオマス活用展開調査型 （農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課）

バイオマスのフル活用に向けて、十分に情報が把握できていないバイオマスについて、賦存量や利用量の推計、用途の検証を行うとともに、バイオマス産業の市場規模の算出に必要な情報を収集・整理し、これらの情報からバイオマス活用推進基本計画のフォローアップの検証方針(案)の取りまとめを実施しました。

2024年

6月17日(月) 第1回検討委員会
11月21日(木) 第2回検討委員会

2025年

1月23日(木) 第3回検討委員会
3月28日(金) 事業完了

⑤令和6年度みどりの食料システム戦略推進総合対策事業 地域資源活用展開支援事業

(3) 先進事例の情報普及型

(農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課)

脱炭素化の実現を目指す地域へ情報を横展開していくため、バイオマス産業都市等におけるバイオマス利活用構想の先進事例の調査、情報発信ツールの整備構築及びバイオマスの活用に関する人材育成等の取組を実施しました。

2024年

8月23日(金) 第1回人材育成研修会
8月27日(火) 先進情報バンク アンケート調査
～9月27日(金)
10月2日(水) 第2回人材育成研修会
12月13日(金) 第3回人材育成研修会

2025年

3月21日(金) 事業完了

2) 受託事業

①バイオマス産業都市推進協議会関係

バイオマス産業都市における事業の加速化や普及を展開するため、2018年10月29日にバイオマス産業都市推進協議会として発足した協議会であり、更なるバイオマス産業都市の拡大推進のために事務局の運営を行いました。

2024年

5月15日(水) 2023年度事業監査
7月18日(木) 第18回理事会
7月22日(月) 第7回総会文書審議
～8月19日(月)
8月22日(木) 第14回バイオガス部会運営幹事会
10月11日(金) 第15回バイオガス部会運営幹事会
10月17日(木) 先進事例視察(北海道鹿追町、平取町)
～18日(金)
12月11日(水) 第19回理事会
12月24日(火) 第13回木質バイオマス部会運営幹事会
12月26日(木) 第16回バイオガス部会運営幹事会

2025年

- 2月 4日 (火) 木質バイオマス部会、10周年記念大会シンポジウム、交流会
- 2月 5日 (水) 第20回理事会、関係7府省からの情報提供、バイオガス部会
- 3月27日 (木) 国への提言書提出

②日本バイオマス製品推進協議会関係

2007年2月21日に、バイオマス製品の利用拡大を促進することを目的として設立された協議会であり、更なる利用拡大推進のために事務局の運営を行いました。

2024年

- 4月26日 (金) 2023年度事業監査
- 6月 5日 (水) 第1回幹事会
- 6月14日 (金) 2024年度総会・講演会・交流会
- 7月25日 (木) 第3回バイオマス製品推進のための提言内容検討委員会
- 8月26日 (月) 関係省庁、企業、団体等との打合せ、ヒアリング (提言内容検討委員会)
- ～2月10日 (月)
- 9月11日 (水) 第4回バイオマス製品推進のための提言内容検討委員会
- 11月 6日 (水) 第5回バイオマス製品推進のための提言内容検討委員会
- 11月 7日 (木) 第2回幹事会
- 12月10日 (火) EBC24 (European Bioplastic Conference 2024) 参加
- ～11日 (水)
- 12月17日 (火) 第14回バイオマス製品普及推進功績賞表彰式・記念講演会

2025年

- 2月 3日 (月) EBC24 参加報告と意見・情報交換
- 2月26日 (水) 第6回バイオマス製品推進のための提言内容検討委員会
- 3月 5日 (水) 第3回幹事会

③全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会関係

2007年3月19日に、バイオディーゼル燃料の円滑な普及拡大を目的として設立された協議会であり、更なる利用推進のための活動を図るために事務局の運営を行いました。

2024年

- 4月 5日 (金) 2024年度品質分析 受付開始
- 4月24日 (水) 第47回幹事会
- 5月 8日 (水) 2023年度事業及び会計監査 (NPO 法人愛のまちエコ倶楽部)
- 5月20日 (月) 2023年度事業及び会計監査 (愛媛県)
- 6月25日 (火) 第19回総会・講演会・交流会
- 7月10日 (水) バイオディーゼル燃料取組実態等調査 開始
- 9月25日 (水) 2024年度品質確認制度運用委員会
- 11月27日 (水) B5 混合軽油特定加工業取得セミナー／品質向上のための勉強会

2025年

- 2月20日 (木) 第48回幹事会
- 2月20日 (木) 日本建設業連合会との意見交換会・交流会
- 3月24日 (月) 視察見学会 (三和エネルギー)
- 3月25日 (火) 経済産業省 第18回総合エネルギー調査会 資源・燃料分科会 脱炭素燃料政策小委員会 オブザーバー参加

④バイオマス資源総合利用推進協議会関係

2013年4月16日に、バイオマス資源の活用を加速化し、バイオマスを基調とした社会の実現と地球環境保全の推進を図ることを目的として設立された協議会であり、これらの目的実現のために事務局の運営を行ってきましたが、2024年8月1日に解散しました。

2024年

5月 7日 (火)	2023年度事業監査
5月31日 (金)	第12回定時総会 文書審議
6月18日 (火)	現地視察 (ビオクラシックス半田、富士山朝霧バイオマスプラント)
～6月19日 (水)	
7月 8日 (月)	2024年度事業監査
7月31日 (水)	第13回総会 文書審議
8月 1日 (木)	協議会 解散

以上

一般社団法人日本有機資源協会 2024年度正味財産増減計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	930,000	1,455,000	-525,000
②受取会費	20,789,000	20,264,000	525,000
③事業収益	1,521,371,848	2,011,254,549	-489,882,701
バイオマス活用推進事業	7,515,400	21,226,355	-13,710,955
バイオマスマーク事業	138,749,600	130,196,000	8,553,600
人材育成事業	3,338,500	3,530,000	-191,500
技術調査事業	0	62,000	-62,000
普及啓発事業	2,226,782	1,836,180	390,602
国際交流事業	0	0	0
出版事業	705,410	1,795,203	-1,089,793
受託・委託・補助事業等	1,368,836,156	1,852,608,811	-483,772,655
④雑収益	246,426	5,176	241,250
経常収益計	1,543,337,274	2,032,978,725	-489,641,451
(2) 経常費用			
①管理費	74,546,501	70,516,128	4,030,373
②事業費	1,408,143,780	1,899,154,622	-491,010,842
バイオマス活用推進事業	9,297,678	19,010,072	-9,712,394
バイオマスマーク事業	21,049,441	18,218,020	2,831,421
人材育成事業	1,431,063	2,072,611	-641,548
技術調査事業	0	195,430	-195,430
普及啓発事業	3,048,467	3,540,033	-491,566
国際交流事業	8,654	59,680	-51,026
出版事業	230,988	740,322	-509,334
受託・委託・補助事業等	1,373,077,489	1,855,318,454	-482,240,965
経常費用計	1,482,690,281	1,969,670,750	-486,980,469
当期経常増減額	60,646,993	63,307,975	-2,660,982
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	60,646,993	63,307,975	-2,660,982
一般正味財産期首残高	228,994,262	165,686,287	63,307,975
一般正味財産期末残高	289,641,255	228,994,262	60,646,993
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	289,641,255	228,994,262	60,646,993

一般社団法人日本有機資源協会 2024年度貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	10,000	10,000	0
普通預金	345,159,784	418,669,295	-73,509,511
未収金	117,489,882	51,611,300	65,878,582
前払金	464,000	3,088,327	-2,624,327
貯蔵品	1,443,159	1,572,049	-128,890
流動資産合計	464,566,825	474,950,971	-10,384,146
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
什器備品	635,174	1,045,885	-410,711
建物附属設備	398,558	481,223	-82,665
ソフトウェア	135,520	298,144	-162,624
敷金	5,785,920	5,785,920	0
退職給与積立預金	44,490,527	37,454,584	7,035,943
その他固定資産合計	51,445,699	45,065,756	6,379,943
固定資産合計	51,445,699	45,065,756	6,379,943
資産合計	516,012,524	520,016,727	-4,004,203
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	33,320,821	35,302,859	-1,982,038
前受金	144,353,750	213,139,599	-68,785,849
預り金	4,195,271	5,114,523	-919,252
仮受金	10,900	10,900	0
流動負債合計	181,880,742	253,567,881	-71,687,139
2. 固定負債			
退職給付引当金	44,490,527	37,454,584	7,035,943
固定負債合計	44,490,527	37,454,584	7,035,943
負債合計	226,371,269	291,022,465	-64,651,196
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	289,641,255	228,994,262	60,646,993
正味財産合計	289,641,255	228,994,262	60,646,993
負債・正味財産合計	516,012,524	520,016,727	-4,004,203

財務諸表に対する注記(2024年度 第24期)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

建物附属設備：定額法による減価償却を実施している。
 什器備品：定率法による減価償却を実施している。
 ソフトウェア：定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金：平成23年3月期より職員・役員に対する退職金の支給に備えて
 期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を基準に計上している。

(3) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 有形、無形固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	495,000	96,442	398,558
什器備品	3,608,037	2,972,863	635,174
ソフトウェア	3,795,570	3,660,050	135,520
合 計	7,898,607	6,729,355	1,169,252

3. その他固定資産の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
敷 金	5,785,920	5,785,920
退職給与積立預金	37,454,584	44,490,527
合 計	43,240,504	50,276,447

4. 退職給付引当金の内訳は次のとおりである。

科目	前期末自己都合 要支給額	当期末自己都合 要支給額	退職給付引当金 当期末残高
役員分	2,717,954	3,482,954	3,482,954
職員分	34,736,630	41,007,573	41,007,573
合 計	37,454,584	44,490,527	44,490,527